

1 自然と人々の共存活動について

ただいまの^{きりやこうせい}桐谷広成議員のご質問にお答え申し上げます。

自然環境の保護、動物との共存等は、本市のみならず、全国的、あるいはもっと大きな地球規模の問題となっております。特に、自然環境面では、より快適な生活を求め、大量生産大量消費の生活をしてきた結果として、地球温暖化やオゾン層の破壊など、自らの生活に不安を与えるような問題に直面しています。

そのような状況の中で、沼田市ではどのような自然保護活動を行っているかではありますが、本市は、豊かな森林を貴重な資源と捉え、平成2年に人と自然が真にふれあう理想のまちをめざして「森林文化都市宣言」を行いました。造林、間伐、保育などの事業や森林ボランティア活動を通して森林の整備を進め、自然環境の維持・保全に努めております。

次に、人々の生活や安全面を考慮した上で、自然と人間が共存して

いくためにどのような活動を行っていくべきであるかではありますが、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、サルなどによる農作物被害はたいへん深刻な問題であり、一旦被害が出ると経済的な損失とともに、生産者に与える心理的な苦痛も大変大きいものがあります。また、クマについては、農産物被害にとどまらず、人命にかかる問題になるおそれもあります。そのため、有害鳥獣被害対策として、草刈りや樹木の伐採を実施し、見通しを良くしたり、電気柵を設置したりして、動物が人里に近づきにくい環境を作っています。また、被害を少なくするためには獣の頭数を減らさないとならないことから、保護の大切さを認識しながらも計画的な捕獲を行っております。

今後につきましても、被害の軽減に向けた取組を継続的に進め、人と野生動物が共存できる環境をつくるため、効果的な対策に取り組んでいきたいと考えております。

以上申し上げまして、桐谷^{きりやこうせい}広成議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。